

# 朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和2年9月14日発行



**【教育目標】 進んで学び、豊かな心をもった、たくましい生徒**

## 「差別と向き合う」

校長 木ノ瀬隆幸

朝晩めっきり涼しくなりました。夜中に起きたらコオロギ以外に、リーンリーンと鈴虫の鳴き声も聞こえ、秋の始まりを実感しています。以下、9月の全校朝会で生徒に伝えた内容をご紹介します。

今日は差別についての話をします。女子プロテニスプレーヤーの大坂なおみさんは、8月26日の大会で4強入り後に一旦は棄権を表明しました。それはアメリカウイスコンシン州で起きた警官による黒人男性銃撃事件等、人種差別に抗議するためです。その後、欠場を撤回し、2日後の準決勝では、「ブラック・ライブズ・マター(黒人の命も大切だ)」と書かれたTシャツを着て抗議を表明し勝利しました。他にも、NBAやMLBで差別への抗議として試合が延期になっています。

日本でも、女性・高齢者・こども・障がい者・外国人・部落への人権問題等、たくさんの差別が存在します。どうして差別はなくなるのでしょうか。自分と違うことは受け入れたくないからでしょうか。自分には関係ないからでしょうか。私たちは生まれたときから、法の下に平等です。人として等しく生きる権利「人権」をもって生まれてきています。それなのにこうした差別の問題が存在します。一方、差別に対して、大坂さんのように力強く戦い続ける人たちがいます。差別を見逃さず、差別と向き合えば、解決への道は必ず開かれます。

最近、ここに新しく新型コロナウイルス感染者への差別が加わりました。感染者に対するいわれのない差別や、医療関係従事者への差別など、たくさんの残念な例が報告されています。先日、萩生田文部科学大臣から心ない行為に対する警鐘と前向きな未来への取組について、文書が届きました。実際に新潟県内の小中学校では、咳をただけで「お前コロナだろ」と執拗に言われて嫌な思いをした例や、医療関係従事者の子供に対する差別の例が、一学期だけで8件も報告されていたそうです。8月26日NHK朝の全国版で放送され、私はとても悲しい気持ちになりました。

2学期も熱中症対策も考慮したマスクの着用と手洗いの励行は欠かせません。新型コロナウイルスに限らず、人の嫌がる言葉を口にしたり行動せず、思いやりのある言動をお願いします。道徳の授業ではみんな立派な意見を述べます。考えたことを行動に移すには相当な勇気が必要です。どうか、きれいごとで済ますことなく、互いに声を掛け合い、みんなの権利と平等を守ることができる、真の意味で優しい朝日中学校の生徒であってほしいと願います。

最後にお知らせです。4月に伝えたように、9月下旬から社会、理科、英語、保健体育も教科担当の先生を変更します。既に変更している教科もあります。ただし、学級担任制の3年英語は変更がありません。皆さんが新しい出会いをきっかけに、先生の多様な価値観や指導方法にふれて、成長の機会としてください。

---

---

**スクールサポートスタッフが着任しました！**

9月1日(火)

今月の全校朝会でSSS（スクールサポートスタッフ）の着任式がありました。SSSは、文部科学省から教職員の働き方改革を進める上で教員の負担軽減のために提案された、新しい職種で会計年度任用職員のことです。本校には桜井美幸さんが着任されました。印刷業務や文書整理、感染症対策としての消毒など、沢山の業務をお願いしています。昼休みには、教室の入り口や廊下の手すりの消毒をお願いしました。学校の活動をサポートしていただきます。



---

---

**創立30周年記念体育祭を開催しました！**

9月5日(土)

秋晴れの青空のもと、31回目の体育祭が行われました。熱中症と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒会書記局を中心に種目を見直し、実施時間も午前中のみとなりました。生徒会長の挨拶にあったように、全力で取り組み、全員笑顔が弾ける体育祭となりました。これからは、今年の体育祭のスタイルが新しいスタンダードになるかもしれません。

開会式直後に撮影した、30周年記念の人文字「朝日中2020」は、後日クリアファイルにして生徒にお配りします。きっと、当日の感動とともに、大人になっても忘れることのない、一生の宝になることを期待しています。撮影にご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。ご来場いただいた保護者の皆様、地域の皆様、3密回避にご協力いただきありがとうございました。



**選手宣誓**

両軍の応援団長が堂々と宣誓しました。



**2学年種目 ひとりずつ縄跳びリレー**

縄跳びをしながら走る姿は見ものでした。



**1学年種目 ボール運びリレー**

チームワークが勝利の鍵です。



**3学年種目 杵ワク玉入れ**

ソーシャルディスタンスを意識した新感覚玉入れです。



応援合戦 パフォーマンスの赤軍



団結力の青軍

結果は以下の通りです。両軍とも団結し、最後まであきらめずにがんばりました！

競技の部	応援の部	パネルの部	総合
赤軍	青軍	赤軍	赤軍

ドローンで撮影した人文字です。  
村上市の建設企業のご厚意で撮影していただきました。




---

## 体育祭の成功を分かち合い、よい伝統をつなげよう 9月9日(水)

---

9月の生徒朝会が行われました。今回は体育祭の振り返りと3学年委員会の取り組みが紹介されました。感謝が広がるとても素敵な会でした。

発表の中で、1, 2年生からリーダーシップを取ってくれた3年生へ感謝のメッセージが、3年生から後輩達への来年の体育祭への期待のメッセージが紹介されました。

生徒達の横のつながりと縦のつながりを強めた体育祭を全校で共有することができました。




---

## 残念ですが、修学旅行が中止となりました

---

新型コロナウイルス感染症のために、方面を変更し、延期となっていた3年生の修学旅行ですが、旅行先の宮城県の新感染者数が増加したため、残念ながら中止となりました。気持ちを切り替えて、新たに計画を立ててきた3年生には、大変ショックな結果でした。決定が伝えられたのは9月3日(木)、宮城県の感染者が急増し、規定の人数を超えた次の日でした。悲しそうな3年生に、かける言葉もありませんでした。

しかし、2日後の体育祭ではその残念さをパワーに変えて、素晴らしい活躍を見せてくれました。3年生の逞しさを感じさせられました。

これから県内での日帰りの巡検旅行の準備を進めていきます。



## タブレット端末を活用した理科授業！

9月9日(水)

1年生理科で、県立教育センターの長期研修員さんをお願いして作成していただいたオリジナル学習動画と、タブレット端末を使った授業を地区の小学校に公開しました。教育センターの方も5名、市教委から1名のご出席を頂戴し、ご指導をいただきました。

授業は5種類の気体が入ったボンベを博士が倒してしまい、どれがどれだか分からないところから学習が始まります。

生徒は、「安全に簡単に」の視点で樹形図を使って、調べる手順を考えていきました。タブレットをツールとして使いこなす姿が頼もしいです。次の時間は、この計画にしたがって実験して確かめます。ICTを活用して進める授業が子ども達の意欲を高め、学力向上につながることに期待したいと思います。



## シリーズ 私の青春時代 第4回

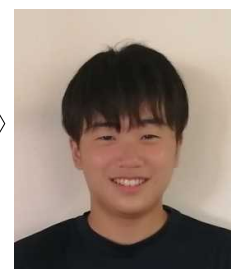
「シリーズ 私の青春時代」、今年度も好評連載中です。第4回は、2学年担任の佐藤隆洋先生です。

### わたしの青春時代

2学年担任 佐藤隆洋



高校生の頃



現在

私の青春は高校だった。中学校や大学も楽しかったが、高校が最も楽しかったように思う。入学した当初は新しい友達がなかなかできず、弁当の時間もひとりで食べないようにするのに必死だった。1年時の体育祭の時に、ようやくクラスのLINEグループに入れてもらったのだが、私以外の人ほとんど全員既にグループに入っていたことをよく覚えている。そんな私の高校生活に転機が訪れたのは、2年生になった時だった。最初の席の周りの人とすぐに打ち解けることができ、部活以外で初めて好きな居場所ができた。1年生の時とは比べものにならないほど充実した毎日を過ごすことができた。詳しいことは恥ずかしいのでここでは述べないが、興味がある人がいたら、ぜひ聞きにきてほしい。ここまで、私の高校生活について述べてきたが、つまり何が言いたいかというと、「楽しい時間はいつか訪れる」ということである。少なくとも、私はそう思っている。自分であまり楽しいと思えない時期はあっても、仲間ができて、目標ができて、学校が楽しい日が必ず訪れる。今、みなさんには今の生活が全てのように思っているかもしれないが、決してそんなことはない。この先の未来には様々な道が広がっている。どうか、先へ進むことを恐れずに、前へ進んでいってほしい。

朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.murakami.niigata.jp/asahi/asachu/index.html>

